



アジアと世界における米国主導の戦争に 反対し抵抗しよう

AWC 日本連、BAYAN 日本支部、JCHRP による団結声明

米国はイラン爆撃を続け、シオニストによるパレスチナ占領と爆撃を煽り立てると同時に、アジア太平洋地域ではそのギアを切り替えている。米国は、「インド太平洋戦略」にもとづく中国「封じ込め」政策を実行する中で、中国をこの地域の平和、安定、安全に対する「差し迫った脅威」として、ますます激しく非難している。この「インド太平洋戦略」は、軍事支配、市場と資源の支配、そして地政学的権威という地域政策をあらわにしている。

インド太平洋戦略は、韓国、日本、フィリピンの従属的な政府との間で結ばれている米国主導の新旧の軍事協定を通じて実行されている。私たちはこのかん、沖縄、韓国、フィリピンの地がいかに戦争ゲームの舞台と化してきたかを見てきた。これは、戦争に反対する民衆の叫びにもかかわらず起こっていることだ。

さらに悪いことに、民衆の命と権利を犠牲にして、米軍基地がこれらの国々に深く固定化されつつある。朝鮮半島における北からの「侵略」に対する「防衛」、日中間の「緊張」に対する「相互防衛」、フィリピンにおける対中国の「相互の利益の増進」といった口実で、様々なレベルの協定を通じて米軍施設が強化されている。

これらの国々の政府と米国との関係は、経済的、政治的、軍事的な覇権という共通の原則に根ざしており、すべては米国による世界支配の追求にもとづいている。

戦争挑発を正当化するための嘘にもかかわらず、ワシントンの嘘のベールは剥がれつつある。西から東まで、世界の民衆は、アメリカ帝国主義の戦争挑発を拒絶している。米国の巨大なプロパガンダ・ネットワークは、そのファシズム的実態が日増しに明らかになるにつれて、勢力を失いつつある。

帝国主義の危機がもたらす貧困から解放され、地域と世界における公正で永続的な平和を希求する民衆として、私たちはあらゆる形態のアメリカ帝国主義の付属物と闘うことを誓う。

私たちは平和のために共に立ち上がる！ 私たちは戦争に反対して団結する！ 私たちは帝国主義とファシズムに抵抗する世界の民衆と連帯して立ち上がる！